



離島の友ヶ島灯台一般公開を行いました

・・・海猿コスチューム大好評・・・

和歌山海上保安部では、灯台記念日（１１月１日）にちなんだ行事として広く地域の方々に航路標識の役割等を通じて海上保安業務に対する認識を深めていただくため、１０月２９・３０日の２日間、紀淡海峡の無人島沖ノ島に位置する友ヶ島灯台の一般公開を行いました。

当日は、離島にも関わらず、定期船に乗って遠くは、愛知県から駆けつけたという熱烈な灯台ファンなど多くの市民が訪れ、普段は入ることができない明治５年（１８７２年）に建設された洋式灯台内部の見学やしょう戒業務の途中に立ち寄った関西空港海上保安航空基地所属のヘリコプターの飛来に歓声が上がりました。

また、海猿（特殊救難隊員、潜水土）のウェットスーツを模して子供用に作成したコスチュームの試着コーナーでは、お子さんそっちのけで無理して試着しようとするお母さんを思い留めるのに苦労する一幕もあり、非常に好評でした。

海猿コスチュームを着用しての記念撮影



関空基地所属機からの空撮



関空基地所属機の飛来

